



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 千葉北部の集い in 印西」から

<質問要約>

放射能で汚染された落ち葉を腐葉土として使いたいのですが、EMで放射能を低減できるでしょうか？

<比嘉教授からのコメント>

まず通常の腐葉土を作るように落ち葉をコンパネに入れ、有機物を混合します。これに光合成細菌を強化したEM活性液を水で30倍くらいに希釈し、全体が十分湿るように散布します。この際、EM活性液と同量の糖蜜を加えると発酵が促進されます。その後、発酵熱が出てきたら切り返しを行います。この状態が45日間位続いたのち放射線量を測定すると低減していたという実証例があります。

(事務局注:比嘉教授が解説している実証例は、「善循環の輪」通信220号で紹介した栃木の事例のことを指していると思われる。バックナンバー必要な方は、当NPOホームページからダウンロード可能です。)

「第17回全国EM技術交流会 北海道大会 in 札幌」開催！

11月3日(土)、札幌コンベンションセンター大ホールにて表題の大会が開催されました。福井で開催された前大会から1年半ぶりの開催とあって全国各地から1000名以上の来客があり、大ホールはほぼ満席でした。今大会は事例発表の内容が非常に充実しており、道内の現場から村おこし・農業・酪農・教育・福祉と幅広い分野が網羅され、いずれも優れた内容であったことが印象的でした。

村おこしで事例発表した新篠津村は、クリーン農業を推進することで都市と農村の交流を図り、単なる産業育成に留まらない人の交流まで視野に入れた地域振興に取り組んでいます。クリーン農業の推進にあたっては、土壌分析設備と診断体制を整えると共に、EM技術の積極的な普及にも取り組んでいます。この取り組みが成果をあげ、現在では村内農家の半数にあたる130戸が「エコファーマー(都道府県知事による認証制度)」を取得、村内の7.8%にあたる農家で有機JASを取得しています(全国平均0.23%)。

また、今大会の会長は新篠津村の東出輝一村長が務められたことも併せて報告いたします。

まだまだ紹介したい事例が盛りだくさんの大会だったのですが、詳しくは今大会に合わせて制作された事例集(1,000円)をお求めください(お問い合わせ先:北海道EM普及協会、電話:011-898-9898)。在庫残りわずかですが、ただ今増刷を検討中です。



大会会長を務められた東出輝一氏(新篠津村村長)による開会あいさつ。



展示・物販ブースも大勢の来客者でにぎわった。

◇◇◇◇ イベント、講演会のご案内 ◇◇◇◇

- 善循環の輪「土佐」の集い 四国EMフェスタ2012
【日時】11月24日(土) 開場08:30 【場所】サンピアセリーズ体育館(高知市高須砂地155番地)
【主催・問合せ】U-ネット事務局 【入場料】1,000円(資料代)
- 比嘉教授講演会 in 青森
【日時】12月8日(土) 開場13:00 【主催・問合せ】U-ネット事務局 【入場】無料
【場所】青森県観光物産館アスパム5階 「あすなる」(青森駅から徒歩5分)